

【帷子川親水緑道】(面積 15,359m²)(公開 平成元年12月)
帷子川の改修事業に伴い本川が北側へ移り、そのあとの曲がりくねった旧河川を利用し、完成した緑道。川沿いに伸びる遊歩道や、吊り橋、日本庭園、等がある。

【帷子(かたびら)川】

旭区若葉台付近を水源として、横浜港に注ぐ流路延長約17km、流域面積約58km²の二級河川。

* 名前の由来: 諸説あるが、現在の天王町一帯は昔、一方が山で他方が田野で平らな地形のため、片平「かたひら」と呼んだことから。海が入江となっていたことから「潟かた」の転化説、または、地形が衣料の帷子に似ているからという説など。

【陣ヶ下溪谷公園】(面積15ha。(約45,000坪))

環状2号線と帷子川が交差する地点の南西側、支流市沢川の市内唯一の溪谷。近代的な道路と寄り添うように公園として整備。

2004年(平成16年)4月開園。

* 陣ヶ下の地名: 鎌倉時代、和田義盛ら武将がこの近辺で狩を楽しみ、陣を張ったことに由来。

【西谷浄水場】

西谷浄水場は、道志川及び相模湖を水源とし、大正4年(1915)に創設。その後、数回の改造が行われ、昭和55年(1980)の第8回拡張工事完成により、現在の浄水能力は1日当たり356,000m³。主に鶴見、神奈川、西、中、南、保土ヶ谷各区方面に給水。

* 仏向町の名前の起源: 正福院の住職「堯室」(ギョウシツ)が初めて北条家を訪ねた折、出家の身で仏に向かうことのみが本意で何も願い事はないが、村里に仏向の2文字をもって名付けたいと申し出たことが名の起こり。

【県立保土ヶ谷公園】(面積34.0ha)

県内で最初に誕生した運動公園。開園は1957年、野球場、サッカー場、ラグビー場など次々と運動施設を整備。硬式野球場は昭和24年設置された伝統ある野球場で、高校野球のメッカとして沢山のファンに親しまれている。